

DMD 情報共有冊子

福祉車両編

Q & A



『はじめに』

当院の身体リハビリテーション部には、幼児から成人まで、多くのデュシャンヌ型筋ジストロフィー（以下 DMD）の方が定期的に通院されています。

私たちは、長年にわたり、作業療法を通じてわずかながらでも支えになれるよう努めてきました。その役割の一つは、「情報の橋渡し役」です。皆さんの経験や生活の中で実践されている工夫は、同じ DMD の方々の不安や悩みを解決するヒントになります。私たちは適切なタイミングで情報を橋渡しできるよう心掛けてきました。現在、これまで蓄積してきた情報をより多くの人々と共有したいという思いから、いくつかのテーマに分けて冊子にまとめる取り組みを始めています。

今回は、「福祉車両」編です。福祉車両の購入は、住宅の購入やリフォームなどの住環境の調整と同様に大きな費用がかかるライフイベントの一つです。最近では、福祉車両に関する情報はインターネットなどを通しある程度入手することが可能です。ただ、実際に DMD の方々の各ご家庭が、どのような車種や機能を重視し、どのタイミングで購入したのかなどについての情報は、得る機会が少ないのではないかと思います。

本冊子では、福祉車両に関する基本的な情報と、福祉車両を使用している方々の実際の声を集めました。今後、福祉車両の購入を検討される際の一助として、本冊子を活用していただければ幸いです。

2024 年 3 月

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
身体リハビリテーション部 佐々木俊輔 上村亜希子

独立行政法人 国立病院機構 災害医療センター
リハビリテーション科 作業療法士 内野夏実

脳神経小児科の先生方からのコメント

<小牧宏文先生>

福祉車両を購入する際にどのように検討すればわからないという意見を患者さん、家族から聞くことがあります。今後はそのような質問を受けた際には自信をもって、「この冊子をまず見てくださいね。」と勧められます。

患者さんそれぞれに適切な福祉車両を用いて、安全かつ円滑にいろいろな場所に出かけていってください。

<本橋裕子先生>

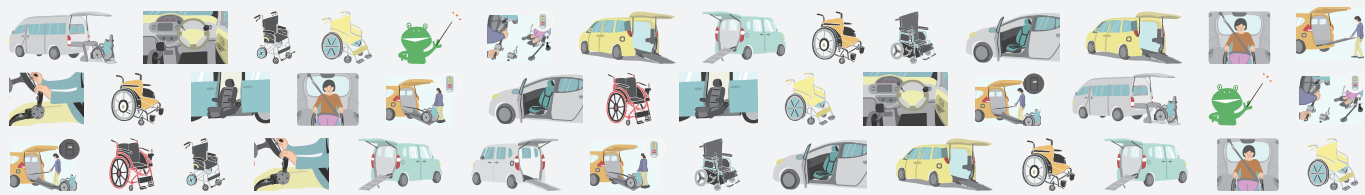
車椅子を使用されている方々が、より遠くに、より快適に移動するためには、福祉車両はとても重要なものです。本冊子では福祉車両をどのように選び、購入したら良いのかが、とても分かりやすく書いてあります。

ぜひ一度お手にとってみてください。

<竹下絵里先生>

外出、通院などの移動手段として重要な福祉車両についての情報が、とてもわかりやすくまとめられています。

皆さんの生活や将来に向けた準備として大変参考になる内容です。是非ご一読ください。



目次

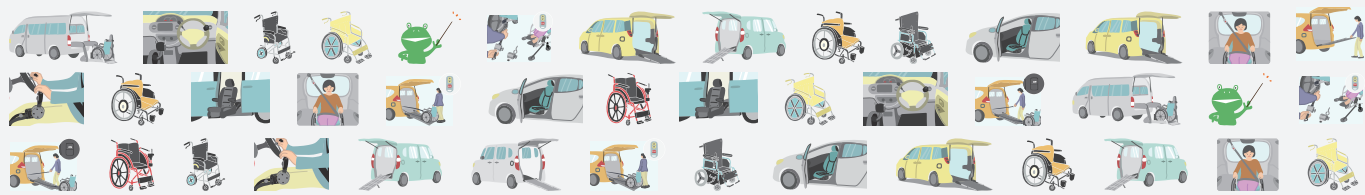
I. 福祉車両の基礎知識

- 1 福祉車両とはどのような車のことを言うのでしょうか。...P.9
- 2 福祉車両の種類について教えてください。...P.9
- 3 車椅子仕様車について具体的に教えてください。...P.10
- 4 福祉車両の試乗は可能ですか。...P.13
- 5 試乗の際のチェックポイントを教えてください。...P.13
- 6 福祉車両の基礎知識を得るためのおすすめのサイトを教えてください。...P.14

II. みんなの福祉車両

1. 福祉車両の検討・購入～みなさんから情報収集しました！～

- 1 どのような場所で情報収集ができますか。...P.16
- 2 購入先を教えてください。...P.16
- 3 福祉車両の検討や購入のタイミングを教えてください。...P.17
- 4 みなさんの福祉車両の種類について教えてください。...P.19
- 5 おすすめの車種があれば教えてください。...P.19
- 6 福祉車両を購入する以外で車を利用する方法や対応を教えてください。...P.20



2. 実例紹介

事例1：スロープ式車両（電動車椅子） ...P.22

事例2：スロープ式車両（ストレッチャー型車椅子） ...P.25

事例3：リフト式車両（電動車椅子） ...P.27

事例4：軽自動車のスロープ式車両（簡易電動車椅子） ...P.28

事例5：リフト式車両をレンタルして通院 ...P.30

事例6：兄弟共に車椅子から降車し乗車 ...P.31

事例7：兄弟でリフト式車両を購入 ...P.32

※本冊子の写真については、ご本人またはご家族の了承を得た上で掲載させて頂いております。

I . 福祉車両の基礎知識

1

福祉車両とはどのような車のことを言うのでしょうか。

A

福祉車両は、身体の不自由な人や高齢者にとって移動の自由を広げるために様々な工夫や改造がされている車です。

2

福祉車両の種類について教えてください。

A

福祉車両の種類は大きく「介護式」と「自操式」の2つのタイプがあります。

1. 介護式車両

①「車椅子仕様車（スロープ式・リフト式）」

②「ターンシート車」

シートが回転し乗り降りをサポート。

③「リフトアップシート車」

シートが回転し車外へスライドダウンし
乗り降りをサポート。



2. 自操式車両

運転補助装置付き車両



みんなの福祉車両

DMDのみなさんの福祉車両は「介護式車両」の中の「車椅子仕様車（スロープ式・リフト式）」が主だと思います。

「自操式車両」については時々質問を受けますが、今のところ当科に通院されている方で運転をされている方はいません。ただ近い将来、自分で運転をして通院していますという声が聞こえる日が来るのではと思っています。その時は、みなさんにご報告します！

3

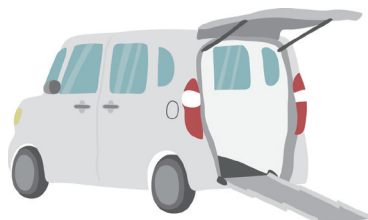
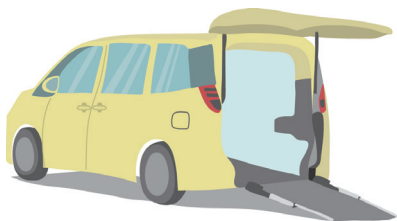
車椅子仕様車について具体的に教えてください。

A

車椅子仕様車には「スロープ式車両」「リフト式車両」があります。

1. スロープ式車両

車のバックドアからスロープを展開して、そのスロープを使って車椅子利用者が乗車するタイプの福祉車両です。



特徴：

- ・車のシートに座れない方や乗り移りが困難な方に使われることが多い
- ・リフト式より車種が多く安価
- ・スロープ出し入れは、電動機能や、電動ウインチ機能がついているタイプと手動タイプがある
- ・乗車時にスロープを後方に出すため、十分なスペースが必要

操作手順： ※詳細は、車種ごとの確認が必要です。



①スロープを準備

スロープの取っ手を持ち、引き出しながら降ろす



②ウインチベルトのセット

ウインチベルトを引き出し車椅子にセット



③電動ウインチ機能で乗車

リモコンを操作し、乗車



④車椅子の固定

固定ベルトを車椅子にかけ、電動ウインチで固定

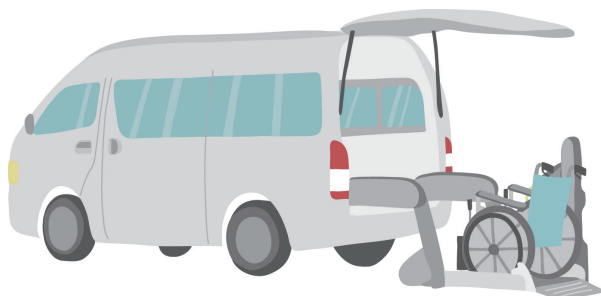


⑤シートベルトの装着

シートベルトは車椅子のスポークの間とアームレストの下を通す

2. リフト式車両

車のバックドアからリフトがせり出し、そこに車椅子を乗せて車内へとアプローチする方式の福祉車両です。



特徴：

- ・常に車椅子を使用している、車のシートへの乗り移りが困難、昇降時に常に車椅子を水平に保つ必要のある方に適している。
- ・昇降が電動なので介助者の負担が少ない
- ・操作が簡単
- ・スロープ車より価格が高価
- ・車種が限定される
- ・乗車時にリフトを後方に出すため、十分なスペースが必要

操作手順：※詳細は、車種ごとの確認が必要です。

1. リフトを下す
2. 車椅子乗車者を乗せる
3. 車椅子を固定する
4. リフトを上げる

リフトの上げ下ろしなどは電動で、リモコンを使用し行います。



4

福祉車両の試乗は可能ですか。

A

福祉車両も試乗をすることが可能です。

福祉車両を揃えた常設展示場や、販売店、または巡回展示を行っている販売店があります。試乗についてはこれらの自動車販売店にお問い合わせください。各自動車会社のホームページにも情報が掲載されているかと思えます。



5

試乗の際のチェックポイントを教えてください。

A

以下にチェックポイントを記載します。

①利用環境はスロープ・リフトの操作や、車椅子の乗り込みに適しているか

②スロープ・リフトは操作しやすいか

③スロープ・リフトを使って車椅子の乗り込みはできるか

④乗車中は快適か

⑤必要な人が乗ることはできるか

⑥必要な荷物を積むことはできるか

(参考サイト：一般社団法人日本自動車工業会「はじめての福祉車両ガイド 2019-2020」)



福祉車両の基礎知識を得るためのおすすめのサイトを教えてください。



この冊子作成にあたり参考になっている以下のサイトがおすすめです。

福祉車両を検討する際のポイント、実際の車種を決める際のチェックポイント、税金の優遇制度や助成制度なども詳しく掲載されています。

<参考サイト>

一般社団法人日本自動車工業会「はじめての福祉車両ガイド 2019 - 2020」

<https://www.jama.or.jp/library/welfare/webcatalog2019/html5.html>



II. みんなの福祉車両

1. 福祉車両の検討・購入 ~みなさんから情報収集しました!~

Q&A

1

どのような場所で情報収集ができますか。

A

様々なところで情報収集ができます。以下のような場所でみなさん情報収集していました。

- ・国際医療福祉機器展
- ・トヨタに勤務する知人
- ・トヨタハートフルプラザ
- ・ホンダのオレンジディーラー
- ・福祉用具を扱うディーラー
- ・中古の福祉用具販売店
- ・ネット検索や動画サイト

2

購入先を教えてください。

A

購入されている場所も様々です。

- ・ディーラー
- ・福祉車両専門店
- ・自動車メーカーの中古車販売店
- ・ネットオークション

新車で購入されているご家庭がある一方で、最近では、福祉車両の中古車も市場に出回っていることから中古車を購入されているご家庭もあります。

代表的な自動車メーカー各社の福祉車両 HP

- ・トヨタのウェルキャブシリーズ
<https://toyota.jp/welcab/index.html>
- ・日産のライフケアビークル
<https://lv.nissan.co.jp/>
- ・ダイハツのフレンドシップ
<https://www.daihatsu.co.jp/friendship/>
- ・スズキのウィズシリーズ
<https://www.suzuki.co.jp/car/with/>
- ・ホンダのウェルフェア
<https://www.honda.co.jp/welfare/>

3

福祉車両の検討や購入のタイミングを教えてください。

A

みなさんから伺いました。

- ・簡易電動車椅子作製前後で福祉車両購入を計画し、実際に購入をしました。
- ・電動車椅子の作製を機に購入をしました。
- ・車の買いかえのタイミングで少し先を見越してスロープ式の福祉車両を購入しました。
- ・兄弟二人が電動車椅子になり、それまで使用していた福祉車両では電動車椅子2台が搭載できず買い換えました。
- ・息子は、知的な面で簡易電動車椅子の操作は難しく普通型の車椅子を使用していますが、体が大きく本人の乗り移り時の介助に限界を感じ福祉車両を購入しました。
- ・現在、簡易電動車椅子を使用しています。将来的には福祉車両をと思ってきましたが、体が細く身長も高くないので車の乗り移りは軽介助でできます。そのため、現在も所有する普通車に車椅子を折りたたんで移動をしています。
- ・我が家は、電動車椅子を導入すると普通車への積みこみや自宅での生活が不便なのであえて折りたたみ式の簡易電動車椅子を使用し続けています。



福祉車両の購入のタイミング

一概には言えませんが・・・

一つのタイミングとしては、簡易電動車椅子あるいは電動車椅子作製の前後で購入を検討するご家庭が多いと思います。下記のように手押し型や普通型の車椅子と比べると重量が格段に大きくなり、簡易電動車椅子もなかなかの重量で積み込むことが大変になります。電動車椅子においては、持ち上げて車内に積み込むことは現実的ではありません。そのため、簡易電動車椅子や電動車椅子の作製前後で福祉車両の購入を検討されるご家庭が多くなる傾向があります。

車椅子の種類

●車椅子 手押し型

普通型より後輪が小さく、介助者に押しってもらうタイプです。自走用よりはコンパクトで軽量なため、外出用の車椅子として使われることが多いです。



●車椅子 普通型

重量：10～15kg程度

利用者が腕の力を利用して走行させます。子供用・標準型・スポーツ型など様々な種類があります。



●簡易電動車椅子（アシスト式）

重量：普通型車椅子の重量+20kg前後

上肢で駆動する力をモーターの力で補助することができるものです。



●簡易電動車椅子（切り替え式）

重量：普通型車椅子の重量+20kg前後

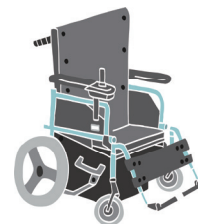
手動の普通型車椅子にモーターやバッテリーなどの電動機能を取り付けたもので、ジョイスティックレバーで操作します。



●電動車椅子 普通型

重量：100kg程度

専用に設計されたフレームに、大容量バッテリーと高出力モーターを搭載し、幅広の駆動輪で進むことができる、走行性能に長けた車椅子です。操作は、簡易電動車椅子と同様、ジョイスティックレバーにて行います。一般的な車椅子より重いので、車の中へ入れるときに重量の確認が必要です。



詳細は「車椅子編」をご覧ください！！

4

みなさんの福祉車両の種類について教えてください。

A

車椅子仕様車の「スロープ式」が多数を占めています。一方、「リフト式車両」を使用されているご家庭もあります。さらに、「回転式シート・昇降式シート車」は、介助量が少ない一時期使用されているご家庭があります。

5

おすすめの車種があれば教えてください。

A

おすすめの車種は各ご家庭の状況によって異なります。

みなさんの福祉車両を何とミニバンを購入されているご家庭が多いようですが、近年では軽自動車からハイエースのような大きな車種まで、各国内自動車メーカーで福祉車両を販売しています。使用人数、使用頻度、使用時間、車椅子の種類、駐車場の広さ、好みなど、各ご家庭で最適な車種を検討することが重要です。



簡易電動車椅子と福祉車両

みなさんからの声にもあるように、物理的な面だけで言えば、簡易電動車椅子のサイズによって福祉車両に買い換えることなく、所有する車の後部座席や荷室に収納して対応をしているご家庭があります（右図）。例えば、小学生で初めて簡易電動車椅子を導入するという場合などは、自分で車の乗り降りが可能であり、簡易電動車椅子のサイズも大きくはないため、所有する車に対応されていることも多いと思います。その際は、車椅子作製時に車への積み込みを想定し、サイズの確認や折りたたみ式にするなどの対応が重要です。電動車椅子になると、車の買い換えや自宅での移動に制限が多くなることを理由に、あえて電動車椅子を導入せず簡易電動車椅子を選択されているご家庭もあります。



簡易電動車椅子を折りたたんで荷室に収納している様子

6

福祉車両を購入する以外で車を利用する方法や対応を教えてください。

A

考えられる選択肢を以下に記載します。

○介護タクシー・福祉タクシーを利用する

介護タクシー・福祉タクシーは、車椅子のまま乗れるリフト付車両やスロープ付きの車両など、身体障害者の外出時の移動をサポートするための福祉車両が使用されています。当院に通院されるDMDのご家族の中には、ご家族が運転をされない、あるいは特定の家族しか運転ができない場合など、通院の際に利用されているご家庭があります。利用に際しては、福祉タクシー券や介護タクシー利用料の助成などの助成制度がある自治体があります。自治体により違いがありますので、障害福祉を担当する窓口で確認するのが良いと思います。

○福祉車両をレンタルする

実際にレンタルをされて通院されている方もいます。福祉車両を揃えているレンタカー会社がありますし、市区町村によっては、社会福祉協議会等で貸し出しを行っているところがあります。選択肢の一つとして検討される場合、お住いの自治体にお問い合わせいただくと良いと思います。

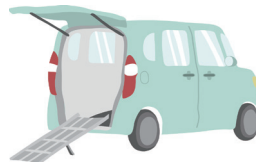
○後付けスロープ

所有する車にスロープを取り付け福祉車両に改造をするという方法も考えられます。DMDのみなさんのご家庭でこの対応をされているケースは伺ったことはありませんが、インターネットで検索するといくつか業者がヒットします。ただし、この方法はメリットとデメリットを十分にご確認の上で検討されることが重要です。



車椅子乗降時のみ既成のスロープをかけるのは？

簡易スロープを使用し車の乗降はどうか？と相談を受けることがあります。この方法については、スロープ使用中にスロープが車から外れて転落などの重大な事故につながる可能性やその他にもさまざま問題があるため、お勧めはしていませんし、使用は避けるべきです。



2. 実例紹介

—みんなの福祉車両—

注意事項：

車椅子は、フレームのサイズ、重量、チルト・リクライニング機能の有無など個人によって大きく差があります。事例については参考程度にご覧ください。福祉車両ご購入の際は、その車種ごとの車椅子乗車の目安や注意事項などの詳細を必ずご確認ください。

事例 1：スロープ式車両（電動車椅子）

Aさん一家 プロフィール

- ・本人：20代
- ・移動手段：電動車椅子
- ・呼吸器使用：無
- ・福祉車両導入時期：中学校3年生 簡易電動車椅子導入時期
- ・車種：トヨタ ノア（スロープ式）



図 1. 全体像



図 2. 乗車時の様子①



図 3. 乗車時の様子②

天井に当たらないよう首を曲げて乗車



図 4. 乗車時の様子③

乗車してしまえばギリギリ当たらない

A さん一家の場合

簡易電動車椅子から電動車椅子に変更するタイミングでトヨタのノアを購入しました。これは福祉車両としては2台目になります。1台目の福祉車両は、中学3年生頃に簡易電動車椅子の使用を機に購入した、軽自動車のダイハツアトレーでした。しかし、簡易電動から電動車椅子に変更することで、電動車椅子のサイズが全体的に大きくなるために、アトレーでは乗降できないことが分かりました。

ノアは、電動ウインチ機能(※1)付きです(図1、2)。ただし、乗降の際は電動車椅子の操作で行うため、現時点では電動ウインチ機能は使用していません。

初めは車両の大きさによる運転の不安がありましたが、少しずつ慣れて問題なく運転ができるようになりました。

※1 電動ウインチ機能とは、専用のベルトを車椅子にかけ、電動で車椅子を引っ張ってくれる機能です。降車の際にもゆっくりと降ろせるので、力に自信が無い方でも安全に乗り降りさせられることがメリットです。





電動車椅子と福祉車両 ①

「車両の耐荷重とスロープの耐荷重」

電動車椅子の重量は、メーカーやタイプによって異なりますが、約 60kg 程度から 200kg 程度のものであります。福祉車両の購入を検討する際、特に電動車椅子の乗降を考慮する場合は、車両の耐荷重とスロープの耐荷重をチェックすることが重要なポイントの一つとなります。

福祉車両の種類やメーカーによって異なりますが、一般的には以下のような特性があります。

- **車両の耐荷重**は、車両の最大積載量から乗員や荷物の重量を引いたものです。例えば、Honda の N-BOX の車椅子仕様車では、最大積載量が 400kg で、乗員が 3 人（150kg）と荷物が 50kg の場合、車両の耐荷重は 200kg になります⁽¹⁾。

- **スロープの耐荷重**は、スロープにかかる最大の重量です。車椅子 + 車椅子利用者 + 介助の方の合計重量です。例えば、Honda の N-BOX やフリードの車いす仕様車、トヨタのノアの車いす仕様車では、いずれもスロープの耐荷重は 200kg です^{(1) (2) (3)}。日産のセレナはスロープの耐荷重を 300kg までオプションで増やすことが可能です。

(1) ホンダ | 車いす仕様車 | N-BOX | 福祉車両 | Honda.

<https://www.honda.co.jp/welfare/nbox/wheelchair/>

(2) ホンダ | 車いす仕様車 | フリード | 福祉車両 | Honda.

<https://www.honda.co.jp/welfare/freed/wheelchair/>

(3) トヨタ ノア | ウェルキャブ（福祉車両） |

https://toyota.jp/noah/welcab/w_chair_slope/

(2023.4.30 アクセス)

事例2：スロープ式車両（ストレッチャー型車椅子）

Bさん一家 プロフィール

- ・本人：20代
- ・移動手段：介助型車椅子
- ・呼吸器使用：有 24時間使用
- ・福祉車両導入時期：高校生頃 呼吸器の使用が始まった時期
- ・車種：トヨタ ノア（スロープ式）



図 7. 全体像



図 8. 乗車時の様子



図 9. 車内の様子

Bさん一家の場合

我が家の車は、トヨタのノアです。この福祉車両を購入したきっかけは、本人が高校生になった頃でした。呼吸器を使用するようになり、私（母）が一人で車椅子と車の移乗が難しくなったことが主な理由でした。車種を決める際、使用している車椅子がストレッチャー型で全長が長いため、車内に収納できる車を選ぶ必要がありました。幸いノアには、全長が長いストレッチャー型の車椅子の搭載が可能なタイプがあり、この車種に決めました。（図9）。

この福祉車両を購入してから、私も本人も車での移動がとても楽になりました。本人は、車椅子がしっかりと固定され、車の衝撃や振動で不快な思いをすることがなくなったと喜んでいます。

介護者の運転技能

主にお母さま方から「長年ペーパードライバーで必要にせまられて福祉車両の購入を機に運転をすることになった。とても不安。」という声があります。

教習所でペーパードライバー講習を受けた、小回りが利く軽自動車を選んだ、運転に慣れているという点でそれまで所有していた自家用車と同じ車種を選択したなど各ご家庭で色々な対応されているようです・・・

事例3：リフト式車両（電動車椅子）

Cさん一家 プロフィール

- ・本人 人：20代
- ・移動手段 段：電動車椅子
- ・呼吸器使用：有 24時間
- ・福祉車両導入時期：簡易電動車椅子から電動車椅子に変更した時期
- ・車種：日産 セレナ（リフト式）



図5. 車内の様子



図6. 昇降機（リフト）

Cさん一家の場合

我が家は、簡易電動車椅子から電動車椅子に変更したタイミングで日産セレナのリフト式車両を購入しました（図5、6）。スロープ式車両は、降車の際、電動車椅子を後進させる操作に不安がありリフト式にしました。呼吸器を装着し電動車椅子に乗車したまま車に乗降しています。

本人は、車外の景色が見えないことがややマイナスポイントと言っていますが概ね満足ようです。

事例4：軽自動車のスロープ式車両（簡易電動車椅子）

Dさん一家 プロフィール

- ・本人 人：20代
- ・移動手段：簡易電動車椅子
- ・呼吸器使用：有 夜間のみ
- ・福祉車両導入時期：簡易電動車椅子導入時期
- ・車種：三菱 トッポ（現在は製造中止 スロープ式）



図 10. 全体像



図 11. 乗車時の様子

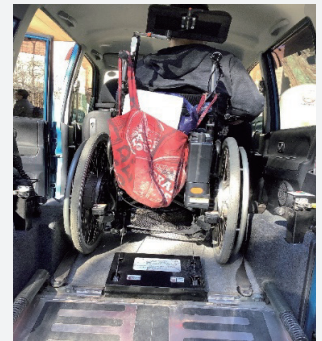


図 12. 車内の様子

Dさん一家の場合

我が家では、簡易電動車椅子導入を機に福祉車両を購入しました。すでに、自家用車で普通車を所有していたので、福祉車両は軽自動車を検討しました。購入したのは、三菱のトッポ（現在製造中止）のスロープ式車両、電動ウインチ機能付きです（図 10、11）。軽自動車なので車内が少し狭い（図 12）ということはありませんが概ね満足しています。

福祉車両を導入したことで、移乗介助が不要になり、介護負担は確実に減りました。本人も車椅子に乗ったままで車内に移動することができると言っています。

今後、簡易電動車椅子から電動車椅子に変更した時にこの車では乗降ができないのではと思ってはいます、どうするかは課題です。



電動車椅子と福祉車両 ②

「電動車椅子と軽自動車」

車椅子が乗せやすい福祉車両と言えばワンボックスやミニバンなどが主流で、みなさんも当院の駐車場によく見かけると思います。一方で、最近は軽自動車の福祉車両も登場していて市場で人気があるようです。車両のコンパクトさや、駐車場のスペースの確保、維持費といった面でメリットが大きいのは理解できます。DMDのみなさんの中にもご利用されているご家庭は何人もいらっしゃいます。

ただここでひとつ、軽自動車の福祉車両を検討される際の注意点をお伝えしておきたいと思います。それは、「車椅子のサイズ」です。どの車種であっても一般的な普通型の車椅子は搭載できるように設計されていると思います。しかし、みなさんの使用されている、あるいは今後使用するかもしれない簡易電動車椅子や電動車椅子は「一般的」ではないサイズである可能性がある、むしろその可能性が高いということです。普通自動車とくらべ軽自動車の場合は搭載できる車椅子の最大サイズが小さく設定されています。場合によって電動車椅子でも乗降できているケースもありますが、電動車椅子の導入を機に搭載不可能となって車の買い換えが必要になるご家庭はあります。車に合わせて車椅子のサイズを決められればいいのですが、身体の成長や身体機能の予測は思うようにいかないのが現実です。その点を考慮に入れてご検討頂ければと思います。



事例5：リフト式車両をレンタルして通院

Eさん一家 プロフィール

- ・ 本人：20代
- ・ 移動手段：電動車椅子
- ・ 呼吸器使用：夜間のみ + 最近は日中も必要になってきた
- ・ 福祉車両導入時期：中学生頃
- ・ 車種：リフト式車両をレンタル



図 18. 全体像



図 19. 車内の様子

Eさん一家の場合

我が家では、車での移動が必要な際には社会福祉協議会から福祉車両（ハイエース リフト式）をレンタルしています（図 18）。

電動車椅子での座位は、リクライニングしなければ長時間の乗車が難しいため、リクライニングが可能な空間を持つ車両が必要でした。ハイエースは、広さが十分であり、荷物も十分に収納できるので、我が家にとっては最適な選択肢でした。

以前、本人が中学生の時に助手席リフトアップシートの福祉車種を購入し、現在も所有しています。しかし、時間の経過と共に段々と座位保持が難しくなってきたことで、この車での移動が困難になってしまいました。そこで、新たに福祉車両を購入するのではなく、市のサービスを利用して必要な時だけ福祉車両をレンタルするという方法で対応することに決めました。現在は、この方法で特に困ることはなく、生活を送っています。

福祉車両を検討されているご家庭には、購入もいいですが、レンタルをするという選択肢も一つの手段としてご検討されてもいいのではと思います。

事例6：兄弟共に車椅子から降車し乗車

Fさん一家 プロフィール

- ・本 人：兄 20代 弟 10代
- ・移 動 手 段：兄弟共に簡易電動車椅子
- ・呼 吸 器 使 用：兄弟ともに夜間のみ使用
- ・福 祉 車 両 導 入 時 期：兄が小学3年生頃 介助型車椅子導入時期
- ・車 種：トヨタ ヴォクシー（スロープ+助手席リフトアップシート）



図 15. 全体像



図 16. 乗車時の様子

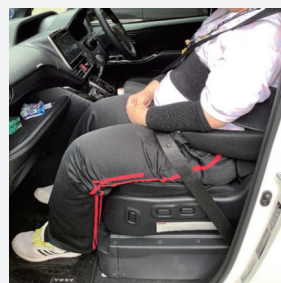


図 17. 乗車時

Fさん一家の場合

我が家では、兄が小学3年生の時に車椅子が必要になり、その時期に福祉車両を購入しました。当時、弟はまだ歩行可能な時期でした。車種はトヨタのヴォクシーでスロープと助手席リフトアップシートが装備されています。(図 15、16)

現在は兄弟共に簡易電動車椅子を使用しています。しかし、兄弟は体格も大きく必然的に乗車する簡易電動車椅子のサイズも大きくなってしまいます。そのためヴォクシーには兄弟が使用する2台の簡易電動車椅子ごと乗車ができず、車で移動する際は介助型車椅子を利用せざるを得ません。そして、2人とも、車の座席（一人は助手席のリフトアップシート、一人は2列目の車両の座席）に乗車しています。カーブやブレーキ時に座席で座位保持できるよう車両のシートベルトにプラスして、もう一つベルトを装着しています。(図 17)。乗降時には、家族2人がかりで介助し、移乗するのは大変な作業です。そのため、現在は電動車椅子2台が搭載可能な車種に買い替えることを検討中です。

事例7：兄弟でリフト式車両を購入

Hさん一家 プロフィール

- ・ 本 人：兄 20代 弟 20代
- ・ 移 動 手 段：兄 電動車椅子、弟 簡易電動車椅子
- ・ 呼 吸 器 使 用：兄弟ともに夜間のみ呼吸器使用
- ・ 福 祉 車 両 導 入 時 期：簡易電動車椅子導入時
- ・ 車 種：ハイエース



図 20. 全体像



図 21. 乗車時の様子

Hさん一家の場合

我が家は、現在 20 代の兄弟二人それぞれ障害者雇用で就労をしています。この度、貯めていたお金を出し合って念願のハイエースを購入し、つい先日納品となりました。本日そのハイエースで初めて通院に行ってきました。

兄弟がそれぞれ電動車椅子と簡易電動車椅子を所有しその時々で使い分けています。状態の変化とともに、兄弟共に電動車椅子に乗車する事が必要になり、重量が重い電動車椅子に乗車したまま、2台共に搭載できるようにハイエースを選択しました。

ハイエースを購入する前は、エスティマ、ノアを使用していました。しかし、これらの車両では電動車椅子を2台搭載することはできませんでした。そのため、弟は簡易電動車椅子を使用し、車に乗る際は簡易電動車椅子から降りて座席に座っていました。車に乗る際は2列目のリフトアップ機能を使用し、車椅子から座席への移乗をしており、介護負担が大きかったのですが、ハイエースを購入し、車への乗り降りがとても楽になりました。兄弟、家族共に快適な移動ができるようになり、介護負担も軽減されました。

💡 電動車椅子と福祉車両 ③

「兄弟での車活用術」

当科に通院されているご家族の中には、兄弟で通院されている方々も多くいらっしゃいます。福祉車両についてもみなさんどうしているのかという声が時々あります。そのため、今回の実例紹介では兄弟例を数例取り上げました。

車椅子を2台搭載できる車種は限られており、大きめの簡易電動車椅子や電動車椅子を2台搭載できる車種となるとハイエースやキャラバンのような大きなワンボックスタイプに限られます。しかし、ご家族からはこのような大型の福祉車両を駐車できるスペースがないという悩みを伺います。

兄弟での福祉車両使用において、いくつか工夫が行われています。例えば「電動車椅子2台は搭載できないので、車移動の際は介助力で対応している」、「福祉車両2台を所有している」、「車移動の際は電動車椅子を使用せず、介助型あるいは簡易電動車椅子にしている」など、各ご家庭で、自分たちの状況に合わせて工夫をされています。

実例紹介は以上です。
情報提供いただいた皆様、本当にありがとうございました。



『おわりに』

今回は福祉車両編ということで、福祉車両に関する基本的な情報と、福祉車両を使用する方々の実例をまとめました。福祉車両という大きな買い物をするにあたり少しでも参考になれば幸いです。また福祉車両を利用して、患者様、ご家族の方々の外出が、快適で楽しいものになるよう願っております。

今後とも、当院身体リハビリテーション科作業療法部門では、DMDの患者様、またそのご家族の方へ向けた情報共有・発信を行っていきます。何かお悩み事、相談事があればお気軽にご相談ください。今後ともよろしく願いたします。

身体リハビリテーション部 作業療法部門一同

冊子の発行にあたって

福祉車両の導入は、ご本人、ご家族ともに大きな決断が必要であると思います。一方で、福祉車両の導入により、活動範囲を維持もしくは広げることができ、社会参加にもつながります。この冊子が、日々の生活や福祉車両の導入にあたっての一助となれば幸いです。

身体リハビリテーション部 部長 原 貴敏

本冊子作成にあたり、情報を提供して下さった皆様、ご指導を頂いた脳神経小児科の小牧宏文先生、本橋裕子先生、竹下絵里先生、スタッフの皆様にご心より感謝申し上げます。

非売品 本冊子内の文章・イラスト等の無断転載・引用はご配慮ください

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
身体リハビリテーション部 作業療法部門

2024年3月発行

